

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 1 「柑橘王国えひめ」を支える果樹産地の更なる発展を目指します

○儲かる果樹農業の確立

【取組】

果樹農業の担い手のモデルとなる「未来型果樹園」を核とした産地の強化を目的として、

- ①西日本豪雨災害からの復旧・復興の支援
- ②未来型果樹園づくりに向けた生産基盤強化のための機械・施設等の整備
- ③商品力の向上のための集出荷貯蔵施設の機能強化等を推進

【成果】

- ①西日本豪雨災害からの復興支援
復旧園地における早期成園化のための土づくり、復旧完了園地における高品質果実生産に取り組むための防風・防鳥ネットやモノレール、仮設トイレの整備：2地区
- ②未来型果樹園づくりに向けた生産基盤強化のための機械・施設等の整備
県オリジナル品種等の高品質・高収量生産に必要なハウス、果樹棚、防風・防鳥ネット、灌水施設等の整備や、省力・低コスト化のための自動選果機、動力車、ヒートポンプ、循環扇、モノレール等の整備：13地区
- ③商品力の向上のための集出荷貯蔵施設の高度化支援
作業効率の向上及び消費者ニーズに合わせた品質の均一化・長期貯蔵化を図るため、ゆずの搾汁ライン一体型皮スライサー及び冷蔵庫を整備：1地区

【関係事業】

- ・未来型果樹産地強化支援事業：95,638千円



復旧園地の土づくり



ハウス整備による
高品質生産の推進

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 2 水田フル活用の推進により、水田農業の持続的発展を目指します

○県オリジナル品種「ひめの凧」の導入推進

【取組】

- ・県産米全体の競争力の底上げ、農家所得向上と本県水田農業の振興を図るため、ひめの凧の生産振興や良食味米生産体制の構築、ブランディングを一体的に実施

【成果】

- ・令和3年度認定栽培者：309名（312ha）
→令和4年度認定栽培者：467名（505ha）
- ・実証ほ場・展示ほ場・栽培研修会等により一等比率90%を達成

【関係事業】

- ・ひめの凧ブランド確立事業：5,451千円



現地研修会

○稲麦二毛作に取り組む大規模経営体の支援

【取組】

- ・収益性の高い稲麦二毛作体系に取り組む大規模経営体を育成するため、二毛作に必要な農業機械・施設の導入を支援

【成果】

- ・農業機械・施設の整備：14件

【関係事業】

- ・水田農業生産力強化支援事業：38,079千円



導入された大型コンバイン

○省力化による持続可能な水田農業の推進

【取組】

- ・大規模で安定した農業経営と水田農業の持続的発展を実現するため、水田農業の省力化に必要な農業機械・施設の導入を支援

【成果】

- ・農業機械・施設の整備：14件

【関係事業】

- ・水田農業生産力強化支援事業：38,079千円



施肥播種機

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 3 主要農作物の種子の安定供給に努めます

○主要農産物の種子の安定供給

【取組】

- ・主要農作物の生産増進を図るため、優良品種の増殖普及と優良品種への更新を促進するとともに、これに必要な原原種ほ場、原種ほ場の設置、採種ほ場の指定、ほ場審査、その他採種管理に対する指導等の実施

【成果】

- ・水稻採種ほ場 289ほ場（6品種50ha）
麦採種ほ場 159ほ場（1品種29ha）

【関係事業】

- ・優良種子生産体制強化事業：1,943千円



指定された採種ほ

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 4 収益性の向上に向けた野菜の生産体制強化に取り組みます

○儲かる品目の生産拡大や高品質化等による収益性向上

【取組】

- ①野菜等産地の規模拡大や高品質化等に必要な施設・機械等の導入を支援
- ②コロナ禍にあっても安定した販売力を発揮した直売所を活用し、直売所間の相互流通販売の取組を支援

【成果】

- ①いちごのハウスや高設栽培資材、環境制御装置のリース導入：1産地、3件
- ①さといもの省力化機械等の導入：7産地
- ①トマト細霧冷房の導入：1産地
- ②県内6か所の直売所で相互流通販売を実施し、直売所間のいちごの相互流通販売を実現

【関係事業】

- ・産地収益力強化支援事業費：5,425千円
- ・野菜・花き等産地供給力強化支援事業費：9,838千円



いちごのハウス栽培



さといもの省力化機械(堀上機)

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 5 新たな花きニーズの創出と収益性の向上に向けた花き産地づくりを支援します

○新たな品種・品目を核とした産地づくり

1 さくらひめの鉢物の普及推進

【取組】

- ①鉢物生産技術の確立や市場・消費者ニーズの把握
- ②需要が高い時期の出荷や高品質多収生産に向けた技術指導

【成果】

- ①県外7市場に、草丈や鉢の大きさを変えて出荷し、市場の評価を把握
- ②講習会実施による、鉢物に適した作型別の摘心技術等の指導

【関係事業】

- ・さくらひめ鉢物産地づくり推進事業費：1,226千円

2 ピットスポラム等花木類の普及推進

【取組】

- ・東予地区において、優良種苗安定供給に向けた挿し木の講習や消費者との交流会、安定生産技術向上に向けた講習会等の実施

【成果】

- ・花木類の講習会(合計10回)や産地PR、実証等の実施による安定生産・販売

【関係事業】

- ・新花材ピットスポラム等生産力強化支援事業費：671千円



県育成品種のデルフィニウム「さくらひめ」の鉢物栽培



花木類の栽培講習会の実施

○新たな花きニーズの創出

【取組】

- ・コロナ禍にあっても安定した販売力を発揮した直売所を活用し、直売所間の相互流通販売の取組を支援

【成果】

- ・直売所間のデルフィニウムの相互流通販売を実現

【関係事業】

- ・野菜・花き等産地供給力強化支援事業費：9,838千円



直売所の花きコーナー

基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 6 魅力ある畜産ブランドの生産体制の強化に取り組みます

○生産基盤の強化

【取組】

- ①国補助事業や県単補助事業（畜産基盤施設再生支援事業費）による機械導入や畜産関連既存施設の補改修を推進
- ②愛媛あかね和牛の生産基盤強化に向けて、母牛導入等による子牛生産から肥育までの一貫生産体制の構築を推進

【成果】

- ①機械等の導入 : 46件
(搾乳関係機械装置、衛生管理高度機械等)
- ①既存施設の補改修: 23件 (畜舎や畜舎屋根等の補改修等)
- ②愛媛あかね和牛生産頭数: 156頭 (目標頭数: 240頭)

【関係事業】

- ・畜産経営技術指導事業費: 3,292千円
- ・畜産基盤施設再生支援事業費: 29,742千円
- ・愛媛あかね和牛生産基盤強化対策事業費: 10,795千円



牛舎の補改修

基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 7 産地や農業者の期待に応える試験研究を推進します

○サトイモ大規模省力生産技術の開発

【取組】

- ・大規模・広域集団栽培技術、無人選別技術、未利用資源の有効活用技術など、生産から出荷・販売に至る一貫的な「サトイモ大規模省力生産技術」を開発

【成果】

- ・ハイクリアランス仕様トラクタによる省力化体系を確立
- ・芋を腐らせる土壌病害の効果的な防除法を開発

【関係事業】

- ・サトイモ大規模省力生産技術開発事業費：8,407千円



ドローンによる防除

○キウイフルーツ花粉安定生産技術の開発

【取組】

- ・キウイフルーツかいよう病の世界的な流行によるキウイフルーツ花粉の輸入制限や価格高騰を受け、不安定な輸入花粉に頼らず、花粉を自給する取組を支援するため、大規模に花粉を生産する技術を開発

【成果】

- ・花粉採取量が多く、発芽率が高い雄品種「チーフタン」を選抜
- ・花粉生産に適した樹形「Tバー整枝法」を開発
- ・現場でかいよう病の診断ができる簡易診断法を開発
- ・松野町で3戸、25aで栽培を開始し、花粉精製工場を整備

【関係事業】

- ・キウイフルーツ花粉安定生産技術開発試験費：2,485千円



花粉生産技術研修会

○畜産生産技術等の開発

【取組】

- ・家畜の暑熱対策や配合飼料価格の高騰対策、効率的な繁殖管理や省力管理など、畜産農家の抱える課題を解決に導く技術開発の推進

【成果】

- ・酪農経営における飼料コストの低減と飼料給与作業の省力化を図るため、食品製造副産物を活用したTMR飼料調製技術を開発中
- ・暑熱ストレスの軽減等によって鶏卵生産を維持、増加させる飼養管理技術を開発中

【関係事業】

- ・低コストTMR飼料調製技術確立試験費：11,926千円
- ・採卵鶏暑熱対策飼料給与技術確立試験費：7,516千円
- ・畜産試験研究費：8,329千円



TMR飼料の給与試験

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 8 地域に密着した普及指導活動の推進により、
足腰の強いえひめ農業を確立します

○産地づくりと地域づくりの推進

【取組】

- ①対象・活動の重点化及び特色ある普及活動の展開、出口戦略を見据えた生産振興を実施
- ②産地の技術レベル向上等を図るため、県内に普及していない革新的な技術を普及指導員が産地へ導入・確立に向け支援
- ③流通面から産地の競争力の強化を図るため、普及指導員が、実需者の消費動向、県産農産物や加工品の流通上の問題点等を調査
- ④県下の普及指導機関等を高画質映像で結び、複数の専門家の助言に基づいた高いレベルの農作物診断がリアルタイムに行える生産支援システムの実用化に向けた開発に着手

【成果】

- ①新たな産地づくりや既存産地の再編強化を強力に推進するため、53の産地づくりビジョンを策定
- ①地域農業を活性化させるため36の地域戦略ビジョンを策定
- ②革新的技術導入：3件、流通・販売調査：3件、
新商品開発及び既存商品のブラッシュアップ：10件
- ③調査結果を普及指導員やJAの関係者に情報提供
- ④リアルタイム診断システムの骨格が完成、病害虫診断等に係る試験運用を開始

【関係事業】

- ・普及活動促進費：30,427千円
- ・普及組織先導型戦略的産地づくり推進事業費：11,074千円
- ・リアルタイム農業普及指導ネットワーク構築事業費：
19,529千円



夏季レモン栽培講習会



傾斜地対応型高機能施設の導入



開発中の
リアルタイム診断システム